

3. 地区の景観の変化



港への通り景観



国道134号からの景観



海からの景観

現状の景観

現在は敷地内の空地が多く、庭木の緑が確保されており、海への視線が抜ける場所も多い。低層であるため空が広く、海辺のほのぼのとした景観となっている。



壁面後退0.5m

3階建ての場合

3階建ての場合には、敷地境界からの壁面後退が少ないため、敷地内の緑化は期待できない。敷地境界に接して建物が建つため隣地や道路に対する圧迫感が高い。



壁面後退1m

総4階建ての場合

4階建ての場合には、敷地境界からの壁面後退が概ね1m程度は確保できるため、敷地内の緑化が期待できる。海への通り景観は、両側の建物により、視界（特に空への広がり）が狭くなる。

一部敷地では4階建てが建てられない場合があります。